

事業所名

あさがおねっと守口

## 支援プログラム 放課後等デイサービス用

作成日

2025 年

1 月

18 日

法人（事業所）理念	子ども達が将来、地域資源や家族と共に生き生きと暮らせる共生社会の実現を目指すことが必要だと考えます。 その為、支援を必要とする障がいのある子どもや家族・地域に対して、社会参加の機会の確保や地域での暮らしを支援します。		
支援方針	障がい児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう障がい児等の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。		
営業時間	平日 11:30~18:00 土曜日・長期休み等 9:30~16:00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・健康の管理と、日常生活動作、QOLの向上や身辺自立へに向けた支援などを行います。 ・トイレトレーニングをはじめ、えんぴつの持ち方、身だしなみや通所した際の本人の様子など、地域との連携、家族様や支援関係者との情報共有をしながら、個別支援計画をたてていき、本人の成長に合わせた支援をチーム全体で取り組んでいきます。	
	運動・感覚	・外出支援・集団活動（簡単なルールを伴ったゲーム等）公園での運動など、怪我がないように指導やサポートをしながら支援を行います。 ・活動時の力加減が難しい場合や、人と人との距離感が必要になる際にはスタッフがサポート、支援をします。 ・自身のボディイメージへの発達を促すような取り組みを考え、様々な環境に挑戦できるように支援をします。	
	認知・行動	・スケジュールや時間の配分の仕方など、児童一人ひとりにも優先順位などを自分でも考えていけるよう、成長につながる支援をします。 ・個別のプリント学習により、筆圧や書き方、日々の生活に必要なスキルの習得、計算能力などを身に付けていけるように支援します。 ・創作やおやつ作り、料理教室等で作品や料理が完成するまでの工程を知ったり、成功体験を積んでいけるようにしていきます。	
	言語コミュニケーション	・日常での会話の中でも、児童の今の課題などをみつけていながら、時間の意識や関心のある物への知識を高めたり、得意な事から自信をつけていけるように支援します。 ・集団活動や児童同士の関わり方を通して、まわりや相手への伝え方をより良い方法で本人が取得していけるようにサポートし、その時その時だけでなく先の成長へと繋げていけるようソーシャルスキルを高める支援を行っていきます。	
	人間関係社会性	・事業所だけでなく、事業所以外での家や学校での課題、普段本人が表出できない部分の気持ちの汲み取りなども感じ取れるように支援します。 ・目の前の問題や悩み事にたいして、本人がまわりを頼りやすくなるような環境も整え、自己選択をサポートしていきます。	
家族支援	・連絡帳や定期的な面談、モニタリングなどを通して、現在の本児童の課題点やご家族様、本人の困りごとをヒアリングし、情報共有をしながら連携した支援をします。 ・関係者・関係機関との連携をはかり、支援体制を構築します。	移行支援	・児童の現在の課題や、今後の可能性などを評価しながら、卒業後に向けた支援と情報の共有をおこなっていきます。 ・関係機関との連携をはかり、支援体制を構築します。
地域支援・地域連携	・地域資源を活用しながら支援をします。 ・卒業後にもつながる施設との連携、情報共有を行いながら本人がより自己選択を行いやすい環境づくりができるよう支援します。	職員の質の向上	・定期的な研修を行い、障がい福祉への知識をより高め、自己啓発にも繋げていきます。
主な行事等	・季節ごとのイベント（春夏秋冬） ・パソコン教室 ・料理教室 ・おやつ作り ・外出支援 ・ソーシャルスキルトレーニング ・防災訓練 ・創作活動		